

令和7年度



幼稚園だより 9月号

文京区立小日向台町幼稚園

開園55周年を祝う思い

園長 小岩井 聡

今年の夏も変わらずの猛暑でした。気温が体温を上回る、災害級の暑さなどという言葉もニュースから聞かれた夏でした。そんな夏休みでしたが、体調を崩すことなく楽しく過ごされましたでしょうか。幼稚園では子どもたちの元気と笑顔が戻ってきて、2学期がスタートできたこと、嬉しく感じます。

さて、今年度、小日向台町幼稚園開園55周年を迎えました。

このような、滅多にない機会ですので、子どもたちとともに、幼稚園のお祝いの会を行ったり、運動会も開園55周年を祝うような運動会にしたりしていきたいと考えております。内容については、これから子どもたちと共に考えていきますので、楽しみになさってください。

まずは、2学期始まって、すぐにお祝いの会を行います。子どもたちや保護者の皆様と共に、楽しく心に残る会となるように考えております。そこから運動会、音楽会などにつながっていくと思うと本当に楽しみです。

しかし、この開園55周年を祝うということは、子どもたちにとってどんな意味があるのでしょうか。自分でもない、家族でもない、友達や先生でもない、それどころか人でもない。ただ、確かなのは、この幼稚園が55年前にできて、ずっとここにある、今でも自分や友達と一緒に遊ぶ大切な場所である。ということ。

今、自分たちにとって大切と思える場所が、おじいさまやおばあさまの頃からずっとつながっていると感じるということに意味があるのかもしれない。時間のつながりというものを感じる機会なのだと思います。

もし、保護者の中で、あるいは保護者の皆様の上の世代、おじいさまやおばあさまで小日向台町幼稚園ができたころに通っていたよという方がいたら、ぜひお子さん(お孫さん)にその頃の思い出を話していただくと、子どもたちがより時間のつながりを感じる機会になるかもしれません。

数年後には、改築も控えておりますが、小日向台町幼稚園がこの地に有り、子どもたちの大切な場所であることは何一つ変わりません。その思いが、60周年、70周年とずっとつながってほしいと思います。そのようなことを考えつつ、2学期も、子ども達の学びを支える、より良い教育活動の推進を目指していきます。保護者、地域の皆様方のご理解とご協力をいただきながら、取り組みたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

